

あいなん未来議会2025

8月4日(月)、未来を担う若い世代の高校生が町議会の仕組みなどについて実体験を通して学び、町政に対する理解と関心を深め、高校生議員からの提言や意見を町政に反映することを目的に役場議場で『あいなん未来議会2025』を開催しました。

質問の方法は一問一答方式、時間制限は答弁を含めて1班20分以内で行いました。南宇和高校から選ばれた10人の議員は、町の将来に関わる重要なテーマについての一般質問を行い、町長や教育長の答弁に熱心に耳を傾けました。



愛媛
CATV
動画



議員氏名	質問事項
濱田 望翔 西田 航	図書館等の整備と学習環境の充実について
赤崎 未玖 杉本 結奈	日常の安全確保と災害時の避難経路確保のための街灯等の整備について
岡崎 月愛	円滑な避難所運営のための防災教育等の充実について
宮崎 逢乃	御荘湾の防潮堤へのアート作品導入について
杉本 結奈 黒田 紗依里	若者が魅力を感じる環境整備について
山岡 右京 猪野 結人	地域資源を生かした愛南町の魅力化について
黒田 紗依里	愛南町の少子化対策・育児環境の充実について
中尾 紫乃	愛南町の公共交通の充実について

事前学習会の実施

6月18日(水)

南宇和高校で、企画財政課政策推進室が愛南町総合計画の内容と進行状況について説明し質疑応答を行いました。

7月22日(火)

役場本庁で議会事務局が議会の仕組みや流れについて説明し、議場で吉田茂生^{しげお}議長^{しげお}の進行でリハーサルを行いました。

令和7年10月号 ー目次(主な内容)ー

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| P2 あいなん未来議会2025、目次 | P26 食育通信 |
| P6 TOWNニュース、地域おこし協力隊活動日記 | P27 今月の笑顔、子育てサポート
・「あいなん幼稚園・緑保育所」 |
| P8 特集『猫にも愛を』 | P28 暮らしカレンダー
・行事予定、各種相談、健(検)診ほか |
| P12 マチャクバ | P30 あいなん音故地新(kikuさん)、図書だより |
| P19 あいなん掲示板(役場以外の機関からのお知らせ) | P31 愛南文芸(俳句・川柳・短歌)、お悔やみ |
| P23 文化・スポーツ | P32 私と野外活動 中田非斗志 ^{ひんとし} さん |
| P25 防災だより | |

若い世代を代表して 私たちが議員を務めました

町の未来を考えるという責任の重さ、意見を提案することの難しさを感じ、自ら問題意識を持って調査・研究を進めて臨んだ議会。

一般質問や再質問などの準備に相当な時間を費やし、一生懸命に町の未来と向き合ってきた10人の議員は、堂々と演台に立ち質問や提案を投げかけました。



濱田 望翔 議員



西田 航 議員



中尾 紫乃 議員



黒田 紗依里 議員



赤崎 未玖 議員



杉本 結奈 議員



岡崎 月愛 議員



宮崎 逢乃 議員



猪野 結人 議員



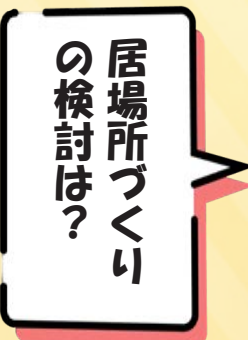
山岡 右京 議員



▲手元の資料には多くのメモが書かれた付箋
議会休憩中も準備に励む高校生議員



高校生からの
意見聴取は？



居場所づくり
の検討は？



一般質問の様子は次のページで

議員の質問と理事者答弁の一部を抜粋して紹介します。

御荘湾の防潮堤への

アート作品導入について

問

宮崎 逢乃^{ほの} 議員

高校生が参加する防潮堤アートプロジェクトを実施することで、単なる防災施設ではなく、町のシンボルとなる空間を創出できると考えます。この取り組みにより、アートを描いた世代の町への愛着、郷土愛を育むとともに、町の活性化につながると考えることから、高校生などを中心に、防潮堤にアート作品を描くことは可能でしょうか。



答

中村 維伯^{まさのり} 町長

防潮堤は愛媛県が施工しています。そのため、アート作品を描くためには愛媛県の許可を取る必要があります。住民との協議も必要であると考えます。手続きを踏み、了承が得られればアート作品を描くことは可能と考えます。南宇和高校の皆さんが主体となって町への愛着や郷土愛を育む防潮堤アートプロジェクトを企画する際には、皆さんの熱い思いに答えられるよう、全力でバックアップをいたします。



図書館等の整備と 学習環境の充実について

問

濱田 望翔^{みと} 議員
西田 航^{こう} 議員



愛南町では、図書館サービスの充実を目指し、さまざまな施策が実施されてきましたが、学習施設が不足しており、地理的条件や家庭環境により、多くの高校生が適切な学習環境を確保できていません。また、図書館の役割は従来の「本を借りる場所」という概念から、学習支援や情報提供、交流促進など複合的機能を持つコミュニティの中心施設へと変化している中、愛南町において複合型図書館の施設整備や、そのような企画書の提出についてお伺いします。

答

中尾 茂樹^{しげき} 教育長

図書館整備については、町村合併の際の新町建設計画に「住民（JUMIN）集いの館」が明記されており、前回の「あいなん未来議会」がきっかけとなって本格的な検討が始まりました。その後、基本構想案の作成や議会との協議を重ねましたが、整備の必要性は認められながらも、建設による町の将来的な財政負担を考慮した結果、最終的に議会特別委員会において賛成少数で見送りと判断となった経過により、現時点で図書館の建設や既存施設の改装計画はなく、御荘文化センター図書室の機能強化に取り組んでいるところです。

しかしながら、図書館機能を有した学習施設の整備の検討については、今後あらゆる可能性を排除することなく、柔軟に対応していく必要があるものと認識しております。また、企画書の提出については、教育委員会において、高校生の皆さんと意見交換ができる場を設け、前回の経緯や現在の課題を共有し、企画の目的や内容を明確に整理することで、今後の愛南町における学習環境の在り方について、共に考えていければと思います。

日常の安全確保と災害時の避難経路確保のための街灯等の整備について

問

赤崎 未玖 議員
杉本 結奈 議員

愛南町の避難計画において、避難所までの看板等が不足しており、また、整備が不十分で迷いやすいことが課題と考えます。誰が、いつ、どこで被災しても助かる町にするために、避難誘導看板の設置効果検証を行い、設置の優先順位の見直しは可能でしょうか。

また、地域住民の参加を促しながら段階的に改善を進める中で、防災地理部など、高校生も看板や避難誘導看板などの作成・計画に携わることは可能でしょうか。

答

中村 維伯 町長

避難誘導看板設置の優先順位について、特に定めはありません。昨年、柏小学校から防災学習の成果として、須ノ川公園に訪れた人のための避難誘導看板の設置提案があり、南宇和高校からの提案も加味して設置した経緯があります。そのため、避難を誘導する看板の設置について、よい案がありましたら提案していただきたいと思っています。

防災は、行政と町民が一体となって取り組まなければならない課題です。ぜひ一緒に取り組んでいただきたいと考えております。



地域資源を生かした愛南町の魅力化について

問

山岡 右京 議員
猪野 結人 議員

愛南町は豊かな自然環境と文化的資源を有しており、都市部住民が求める「本物の体験」を提供できる大きな潜在力を持っています。しかしながら、現状ではこれらの地域資源が十分に活用されていない状況です。

この課題に対応するため、グランピング施設の導入が有効な解決策であると考えます。愛南町の優れた景観と豊かな食文化を生かす手段として、グランピング施設を建設することは可能でしょうか。

答

中村 維伯 町長

近年注目されているグランピングは、自然を快適に楽しみながら過ごす新しいスタイルの観光形態であり、愛南町の持つ自然資源とは非常に相性がよいと考えております。

グランピング施設の導入に当たり想定される課題や検討要素を踏まえ、今後は町として民間事業者との連携を重視し、引き続きグランピング施設誘致の可能性を探ってまいります。

